



2023年3月期 決算説明資料

サイバートラスト株式会社
東証グロース：4498
2023年4月26日

■ エグゼクティブサマリー

2023年3月期

■ 売上高、営業利益ともに通期8期連続で増収増益

- 好調な受注状況を背景に7.6%増収、21.3%増益
- iTrust中心にリカーリング売上比率が増加し営業利益率過去最高

2024年3月期
予想

■ 2023年3月期比20%増収、30%増益

- 安定高収益サービスの継続成長+3つの高成長牽引サービス (iTrust、Linuxサポート、EMLinux)が業績を牽引して大幅増収増益の見込み
- グローバル提携に引き続き注力

株主還元・
上場維持基準
の進捗

■ 2023年3月期配当開始、2024年3月期は同額予想

■ 流通株式比率25%を上回り上場維持基準達成

Agenda

- 2023年3月期 通期業績概要
- 中期経営計画と成長戦略
- 2024年3月期 通期業績予想
- APPENDIX

Agenda

- 2023年3月期 通期業績概要
- 中期経営計画と成長戦略
- 2024年3月期 通期業績予想
- APPENDIX

過去最高の売上高・営業利益を更新

売上高前期比7.6%増 **6,167** 百万円 営業利益前期比21.3%増 **1,053** 百万円

- DX市場の拡大によりiTrustを中心にリカーリングサービスが成長し収益性が向上
- 人材、設備、研究開発投資を行いながら20%超の各段階利益成長

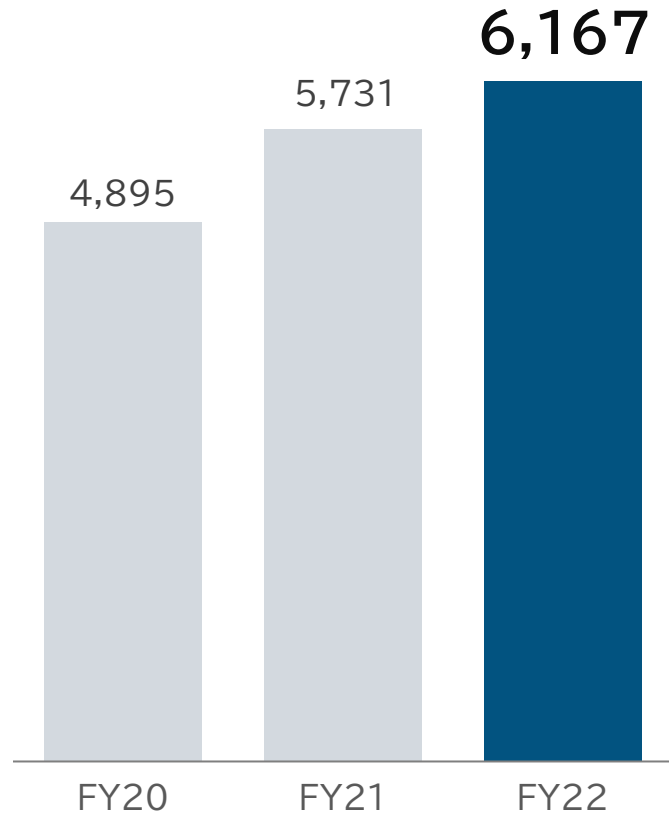
単位:百万円	FY21	FY22(実績)	前期比
売上高	5,731	6,167	7.6%
営業利益	868	1,053	21.3%
経常利益	872	1,065	22.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	530	725	36.8%
EBITDA	1,384	1,623	17.3%

過去最高の営業利益率

リカーリング累積により
収益性向上

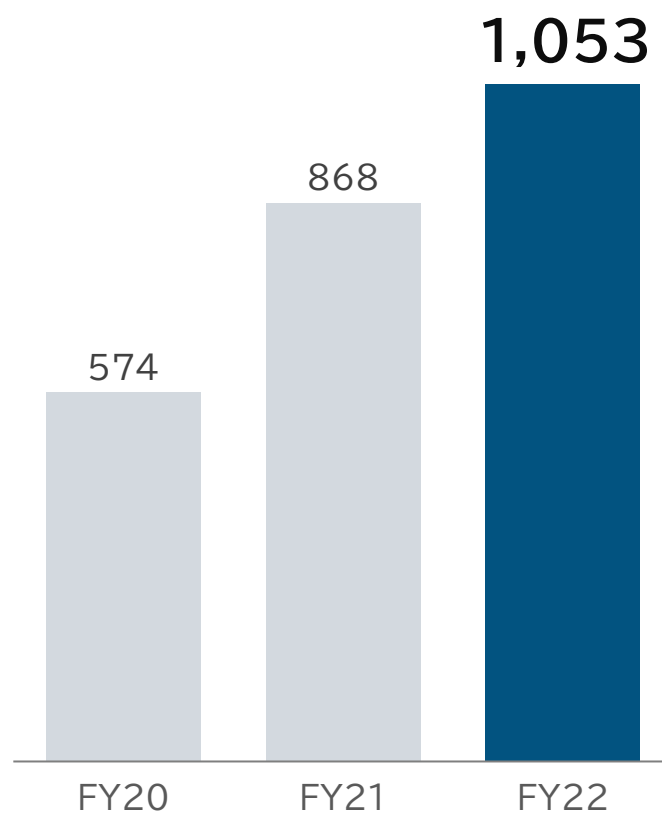
売上高

単位:百万円

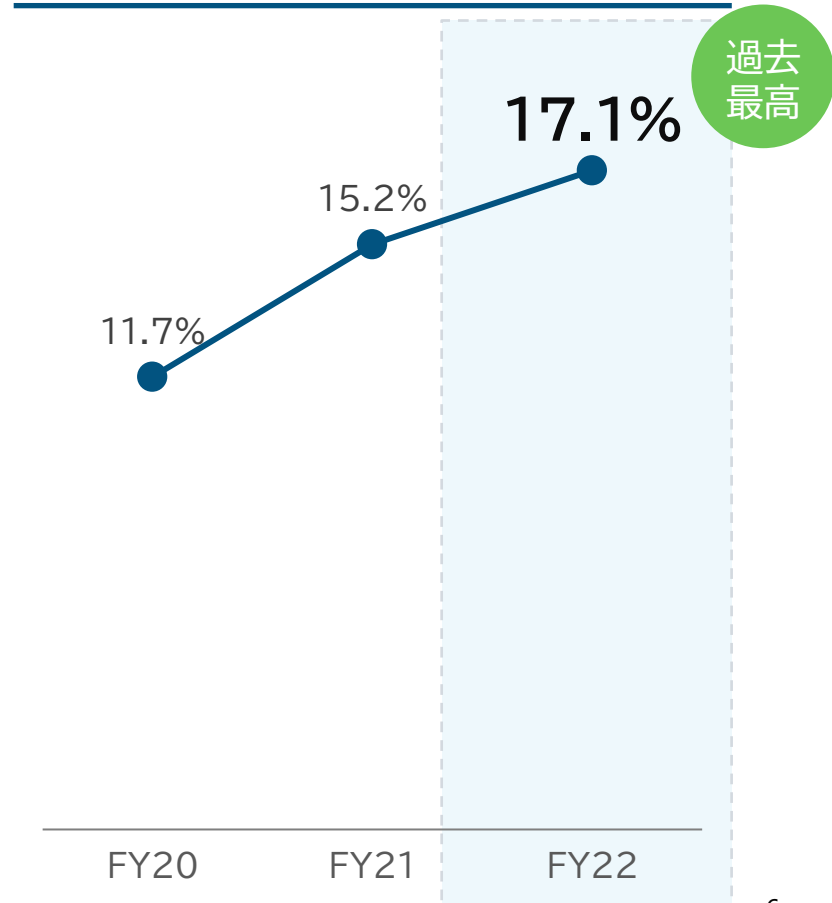


営業利益

単位:百万円



営業利益率



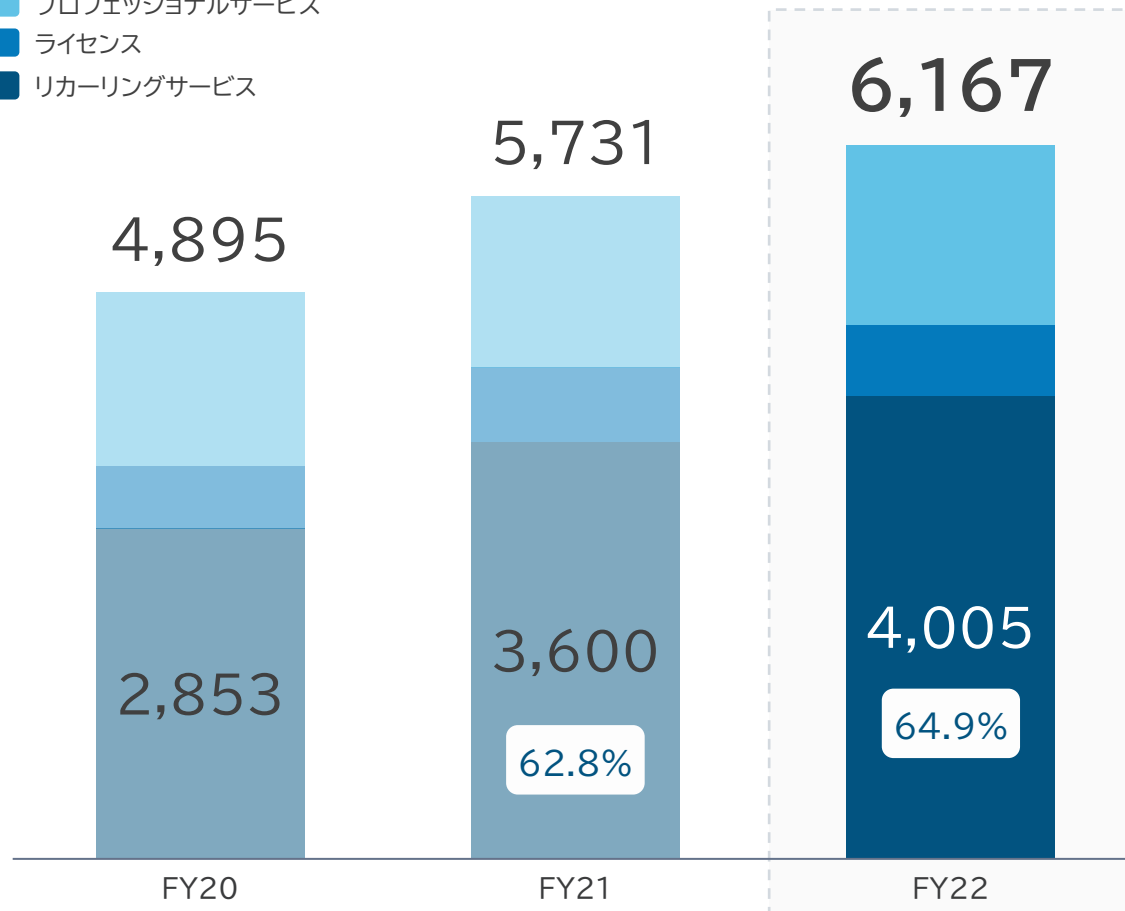
リカーリング売上高

DX市場拡大でリカーリング 売上高 過去最高

取引形態別の売上高

単位:百万円

- プロフェッショナルサービス
- ライセンス
- リカーリングサービス



■ リカーリング売上高
前期比11.2%増

■ リカーリング売上比率
前期比2.1ポイント増加

指標向上の取り組み

- ①リカーリングサービスの機能拡充・安定稼働
サポート品質向上など付加価値向上
- ②パートナー経由ビジネスの拡大
- ③カスタマーサービス・更新案件管理の徹底

■ サービス別 売上高実績

- 認証・セキュリティ DX市場拡大で iTrust、デバイスIDの高成長 / iTrust 新規パートナー18件獲得
主力の SureServer は成熟市場の中でシェア伸ばし増収
- Linux / OSS CentOS解約を上回る Linuxサポート新規案件獲得
当期に新規取引開始した10社パートナーにより収益貢献
- IoT 前期に半導体供給不足の影響を受けた案件が戻り大幅増収 / EMLinux サポート倍増

(単位:百万円)	FY21		FY22		前期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
認証・セキュリティサービス	3,359	58.6%	3,543	57.5%	184	5.5%
Linux / OSSサービス	1,472	25.7%	1,447	23.5%	△25	△1.7%
IoTサービス	899	15.7%	1,176	19.1%	277	30.8%
売上高合計	5,731	100%	6,167	100%	436	7.6%
【ご参考】 Linux/OSSサービス (駆け込み需要を除いた額*)	1,161	20.3%	1,447	23.5%	285	24.6%

* Linux/OSSにおける前年度の駆け込み需要を除く等の調整後ベース

パートナー協業進展しiTrust、デバイスID、SureServer伸長

(単位：百万円)

認証・セキュリティサービス 売上高 (取引形態別)	FY21	FY22	前期比
リカーリングサービス	2,588	2,939	13.5%
ライセンス	203	155	△23.6%
プロフェッショナルサービス	567	448	△20.9%
売上高合計	3,359	3,543	5.5%

リカーリングサービス増収の要因

- iTrust
 - ・ 前期比84.2%増
 - ・ マイナンバーカード交付率67%^(*)で金融機関向けeKYCサービスなど伸長 / 電子契約サービス伸長
 - ・ 電子契約や行政向けサービスなどの領域でVARパートナーが前期比18社増加し38社に
- デバイスID
 - ・ 企業向けのクラウド認証サービス、リモートアクセス伸長
 - ・ ゼロトラストソリューションベンダー2件と連携
- SureServer
 - ・ 取引社数前期比244社増加し1,947社となり増収
 - ・ 国内EVサーバー証明書市場枚数シェア5年間連続してNo.1を維持

※ライセンス売上およびプロフェッショナルサービス売上は安定高収益リカーリングサービスに注力した販売戦略による減少

(*) 出所：2023年3月 総務省「マイナンバーカードの市区町村別交付枚数等について」

前期駆け込み需要を除くLinuxサポート成長

(単位：百万円)

Linux/OSS サービス 売上高 (取引形態別)	FY21	FY22	前期比
リカーリング サービス	973	985	1.2%
ライセンス	334	336	0.8%
プロフェッショナル サービス	164	124	△24.3%
売上高合計	1,472	1,447	△1.7%
駆け込み需要を除いた リカーリングサービス*	662	985	48.8%

リカーリングサービス増収の要因

- Linuxサポート
 - 前期のCentOSサポートの駆け込み需要を除いたLinuxサポート成長
 - 一部顧客の解約あったものの新規で国内最大手SNS事業者の大型案件獲得が貢献
 - 全国のIT業、製造業、教育機関に向けたパートナーを当期10社獲得

※プロフェッショナルサービス売上は
安定高収益リカーリングサービスに注力した販売戦略により減少

< CentOS 駆け込み需要 >

- CentOSプロジェクトが CentOS8のサポートを2021年12月31日で終了すると発表したことを受けて、当社がその受け皿として延長サポートサービスを提供
- CentOS 延長サポートサービスのうち2022年3月までに獲得した案件(計311百万円)

EMLinux、セキュリティコンサル大幅伸長

(単位：百万円)

IoT サービス 売上高 (取引形態別)	FY21	FY22	前期比
プロフェッショナル サービス	752	981	30.4%
ライセンス	108	115	6.6%
リカーリング サービス	38	80	107.9%
売上高合計	899	1,176	30.8%

プロフェッショナルサービス増収の要因

- EMLinux
 - 車載機器・産業機器等のEMLinux開発案件
取引社数前期比4社増加して7社となり大幅増収
 - EMLinuxサポート案件
取引社数 前期比6社増加して10社となり売上倍増
- セキュリティコンサル
 - 車載機器向けセキュリティコンサル獲得が貢献
- 子会社のリネオソリューションズ組込受託開発案件 大幅増収
- セキュア IoT 認定 (Gold) *1 を取得
 - EMLinuxとSIOTP認証局が第三者機関による国際安全基準レベルのセキュリティ認定取得
- 世界最大の統合量子コンピューティング企業 Quantinuum社と
量子強化型秘密鍵の連携商用発表*2、商用サービスに向けた取り組み開始

*1 > プレスリリース(23.2.10) *2 > プレスリリース(23.1.31)

Agenda

- 2023年3月期 通期業績概要
- 中期経営計画と成長戦略
- 2024年3月期 通期業績予想
- APPENDIX

中期 経営計画

ビジネス・トランスフォーメーションとして5つの重要テーマに取り組み
FY22からの3カ年で業績の飛躍的成長を実現する

1 成長する組織と人材育成



- 多様な働き方の選択肢
スーパーフレックス、ふるさとテレワーク
- 従業員に対する教育と技能向上支援の実施
- ジェンダー平等を実現するための
女性幹部社員の育成

2 新規市場の立ち上げとフォーカス



- 地域の中堅企業・地方公共団体
- パートナーエコシステムの立ち上げ・展開
- セキュリティ行動計画
Mobilization Planへの取り組み

3 将来に向けた研究開発



- 研究開発部門設立 **Updated**
耐量子計算機暗号、ブロックチェーン
- グリーンデータセンター
認証局のカーボンニュートラル化

4 グローバル展開



Updated

- Quantinuum社(英国)との提携
世界最大の統合量子コンピューティング企業
量子強化型秘密鍵を新認証基盤との連携実証完了

5 システム安定稼働品質確保



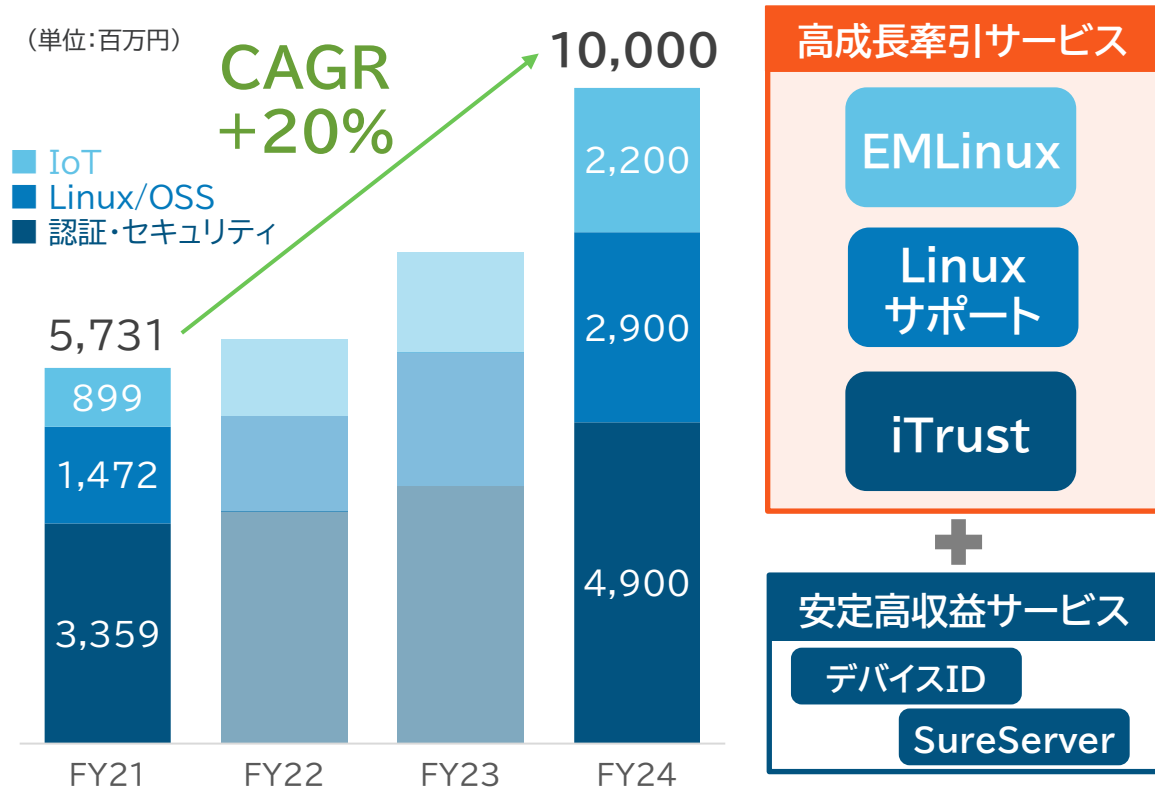
- トラストサービス提供基盤の可用性向上

BizX 20/40 (中期経営計画)

FY24 売上高目標 100億円

各サービスのリカーリング売上を中心に
CAGR = 20% の成長を目指す

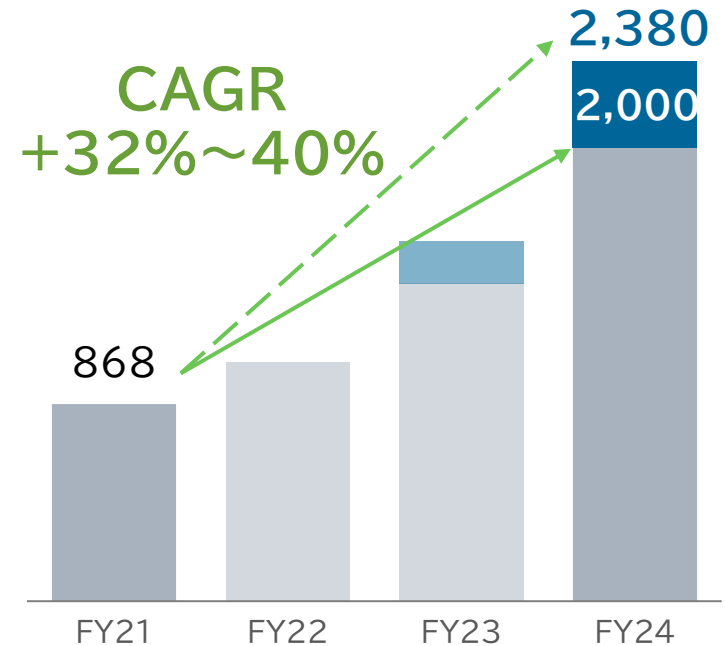
(単位:百万円)



FY24 営業利益目標 20億円以上

- 営業利益率は 20~24% を目標
- CAGRは①国際安全基準の動向、②不安定な半導体供給の継続といった外部環境の不確実性による影響を鑑みレンジ設定

(単位:百万円)

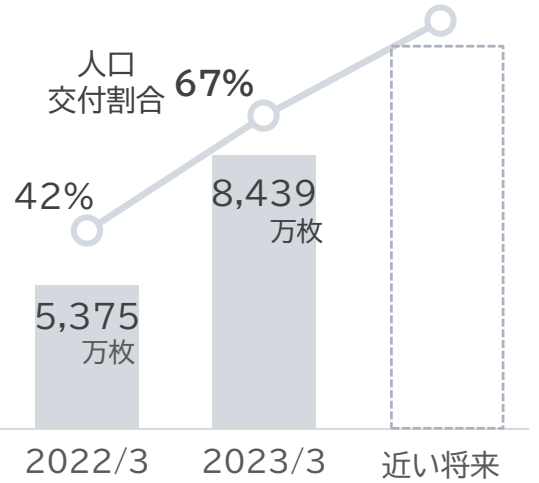


1期目FY22順調に成長、FY23は最終年度のFY24目標達成に向け
高成長牽引サービスに注力し計画通り進捗

1. iTrust (本人確認)

マイナンバーカード今後も増加

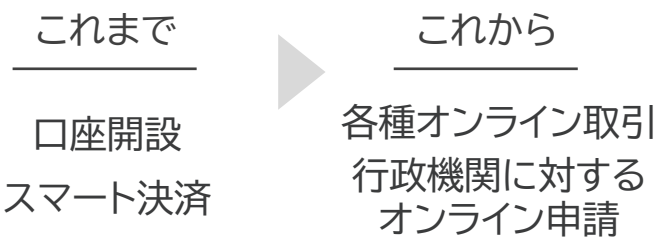
- マイナンバーカード交付枚数 -



出所：総務省
「マイナンバーカードの市区町村別交付枚数等について」

オンライン本人確認の利用場面増加

マイナンバーカードの利活用場面はさらに拡大し生活での利用増加が期待される

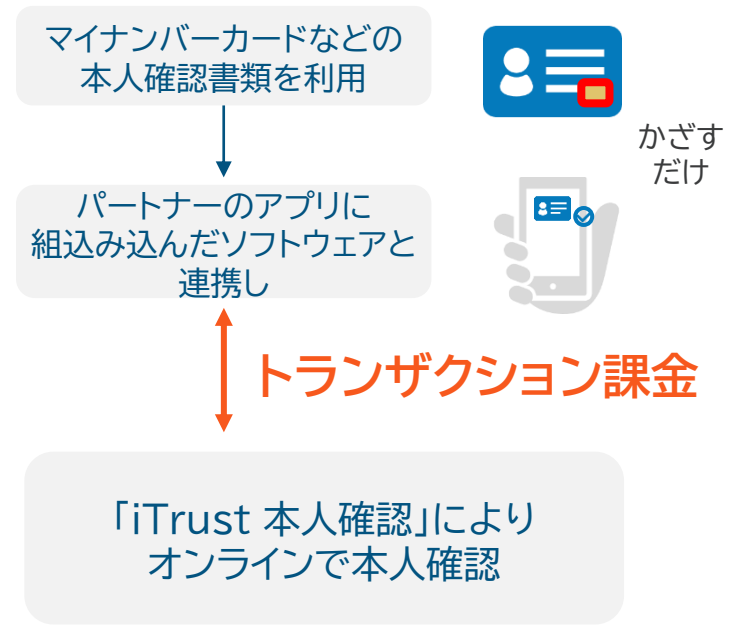


さまざまな本人確認

- 銀行口座開設
- 証券口座開設
- 保険契約
- QR決済口座連携
- 不動産売買
- 中古買取
- 携帯電話契約
- チケット購入
- シェアリングサービス
- 行政手続
- 確定申告
- 子育て
- 引越し
- etc

iTrust のトランザクション増加

パートナー企業における本人確認利用場面拡大により iTrust の利用が増加

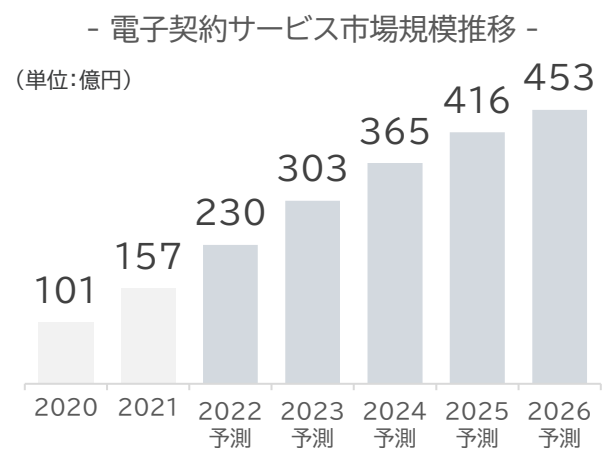


iTrust の収益が拡大 = リカーリング収益の拡大

2. iTrust (電子署名)

デジタル化がさらに進む

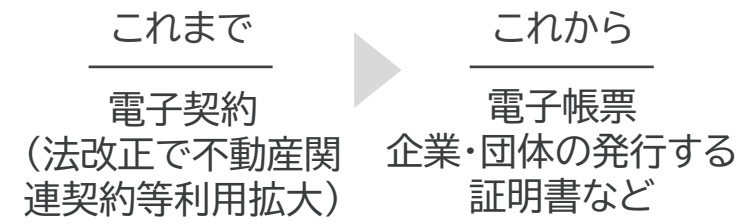
脱ハンコ、ペーパーレス化や
関連する法整備等によりデジタル化が進む



出所：ITR「ITR Market View：リーガルテック市場2022」

電子署名の利用範囲の拡大

電子契約、電子帳票等の電子文書の
真正性を証明する
電子署名の利用範囲が拡大

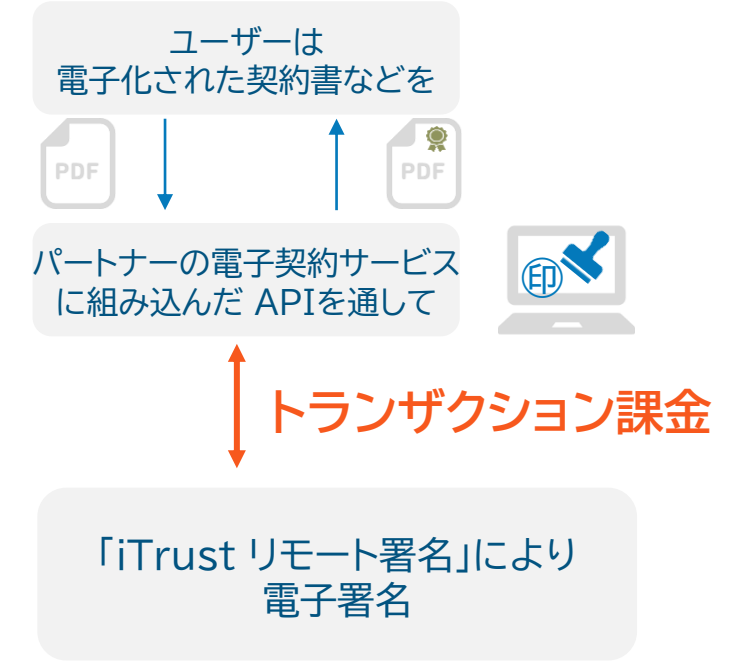


- 法制度の整備**
- 2023.10 電子インボイス制度開始
 - 2023.12 電子帳票保存法の電子保存義務の猶予期間終了

- さまざまな電子署名**
- 企業間電子契約
 - 電子契約 (不動産、金融等)
 - 電子帳票
 - 電子請求書
 - 証明書類 etc

iTrust のトランザクション増加

パートナー企業における
電子署名利用範囲拡大により
iTrust の利用が増加



iTrust の収益が拡大 = リカーリング収益の拡大

3. Linuxサポート

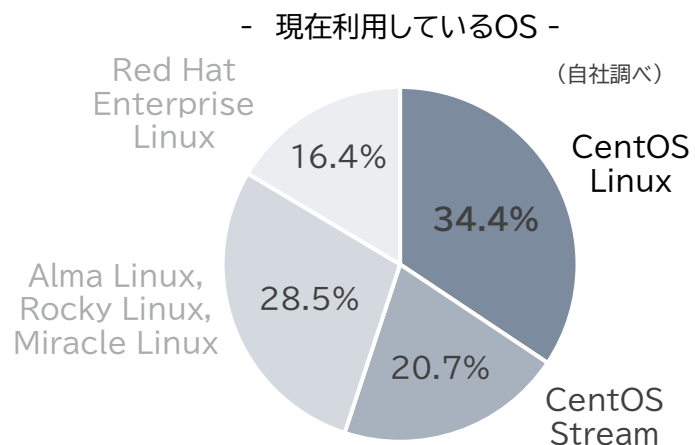
Linux/OSS



後継OS移行困難な利用者の増加

無償LinuxOSで
最も使用されているCentOS7が
2024年6月にサポート終了

後継OSへの移行問題



セキュリティリスクの増加

CentOS7サポート終了により
セキュリティ対策ができず
セキュリティリスクの脅威が高まる

企業の単独での対応に限界
有償延長サポートニーズの増加

CentOS延長サポートの契約件数増加

後継OSへの移行が困難なお客様が多い

CentOS7延長サポートの
契約件数が増加

Linuxサポートの契約件数増加

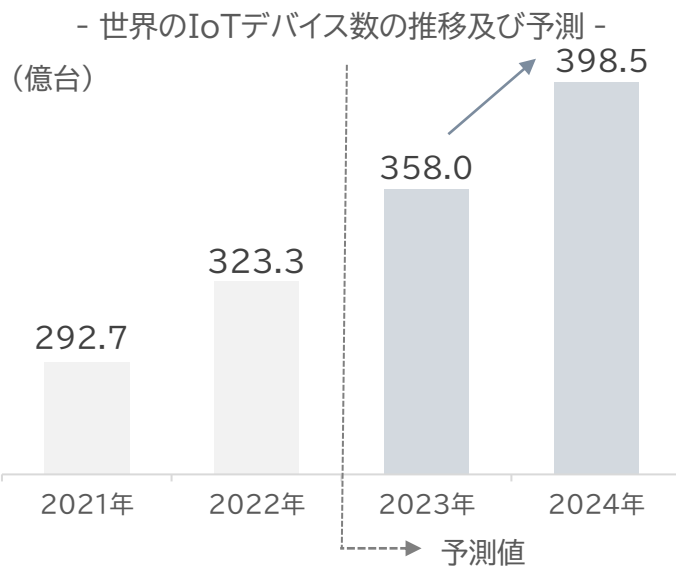
CentOSユーザーの
後継OSへの移行需要をターゲットに
企業向けLinuxサポートを提供する
グローバルパートナーとの連携取組

CentOS延長サポート契約数が増加 = リカーリングの増加

4. EMLinux



IoT機器の出荷台数のさらなる増加



IoT機器のセキュリティリスクが増加

日本製IoT機器における
国際安全基準への準拠が進む

経済安全保障の観点から
重要インフラ14業種※の
セキュリティ対策が
経営陣に義務付けられる



IoT機器製造における 国際安全基準への対応に関する コンサルティングニーズの増加

※ 経済安全保障推進法 第3章：
基幹インフラ役務の安定的な提供の確保に関する制度参照

EMLinux の契約件数増加

海外、国内のIoTセキュリティ要件に準拠
OSSコミュニティと連携し、10年間、継続的
に脆弱性などのセキュリティ修正を提供

**EMLinux 開発
契約件数が増加**

SIOTP の契約件数増加

IoT機器を特定する情報が埋め込まれた
ハードウェアと、国際基準の電子認証局から
発行される電子証明書を組み合わせ
データの改ざんやなりすましを防ぐ

IoT機器のソフトウェアの
署名検証ニーズの高まり

SIOTP の契約件数が増加

EMLinux の契約数が増加 = リカーリングの増加

事業成長につながるOSSグローバルコミュニティとの連携

OSSコミュニティ活動の当社の考え

全世界のソフトウェアの9割が
OSSで開発されている

多くの新技術がOSSコミュニティで
取り組まれ開発されている

当社はOSSコミュニティで、
安心安全、高品質、長期サポートが
可能となるよう貢献し、
顧客の信頼を得ることで市場拡大を目指す

セキュリティ行動計画への貢献と牽引



セキュリティ問題の広がりを背景に
米国先導によりOSSグローバルコミュニティ※1は
セキュリティ行動計画を策定

当社はこの行動計画に参加、貢献することを表明

セキュリティ強化に向けたコミュニティを
国内で立ち上げ、公的機関を交えた議論を開始

セキュリティ行動計画に準拠した当社製品を
開発、提供することで信頼向上を獲得

OSSコミュニティ との連携による成果



長期保証CIP※2への貢献の成果は
FY22で大きく成長した当社組込みOS
EMLinuxの長期サポートとして提供

当社提供の長期サポートは
重要な付加価値であり、
他社サービスとの差別化要因として
積極的に取り組み、
他のOSS/Linux製品でも提供予定

ソートリーダーとしてOSSコミュニティ活動に貢献し事業成長に寄与

※1 OpenSSF(Open Source Security Foundation):Linux Foundation 下で進められているオープンソースソフトウェアのセキュリティ強化を目的として活動するグローバルコミュニティ。

※2 CIP(Civil Infrastructure Platform)は社会インフラ用途の組込みシステムを長期間保守することを目指した OSS コミュニティです。サイバートラストは CIP に参画しています。> [CIP プロジェクトサイト\(英語サイト\)](#)

Agenda

- 2023年3月期 通期業績概要
- 中期経営計画と成長戦略
- 2024年3月期 通期業績予想
- APPENDIX

売上高20%超、営業利益30%超 の高成長見込む BizX20/40に掲げる最終目標に向けて着実に成長

	FY22	FY23	前期比	
			増減額	増減率
売上高 <small>単位:百万円</small>	6,167	7,500	+1,332	+21.6%
営業利益	1,053	1,400	+346	+32.9%
営業利益率(%)	17.1	18.7	—	—
経常利益	1,065	1,400	+334	+31.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	725	950	+224	+31.0%
EBITDA	1,623	2,100	+476	+29.3%

2024年3月期の期初配当予想は、
2023年3月期実績と同額の **1株あたり 17円50銭** を予想

配当 政策

中長期的な企業価値の向上を目指した成長投資を積極的に行いつつも、中長期的視点で事業拡大を図る方針に対して株主の理解を深めていただくため、期末配当として年1回の剰余金の配当を安定的かつ継続的に実施していくことを基本方針とします。

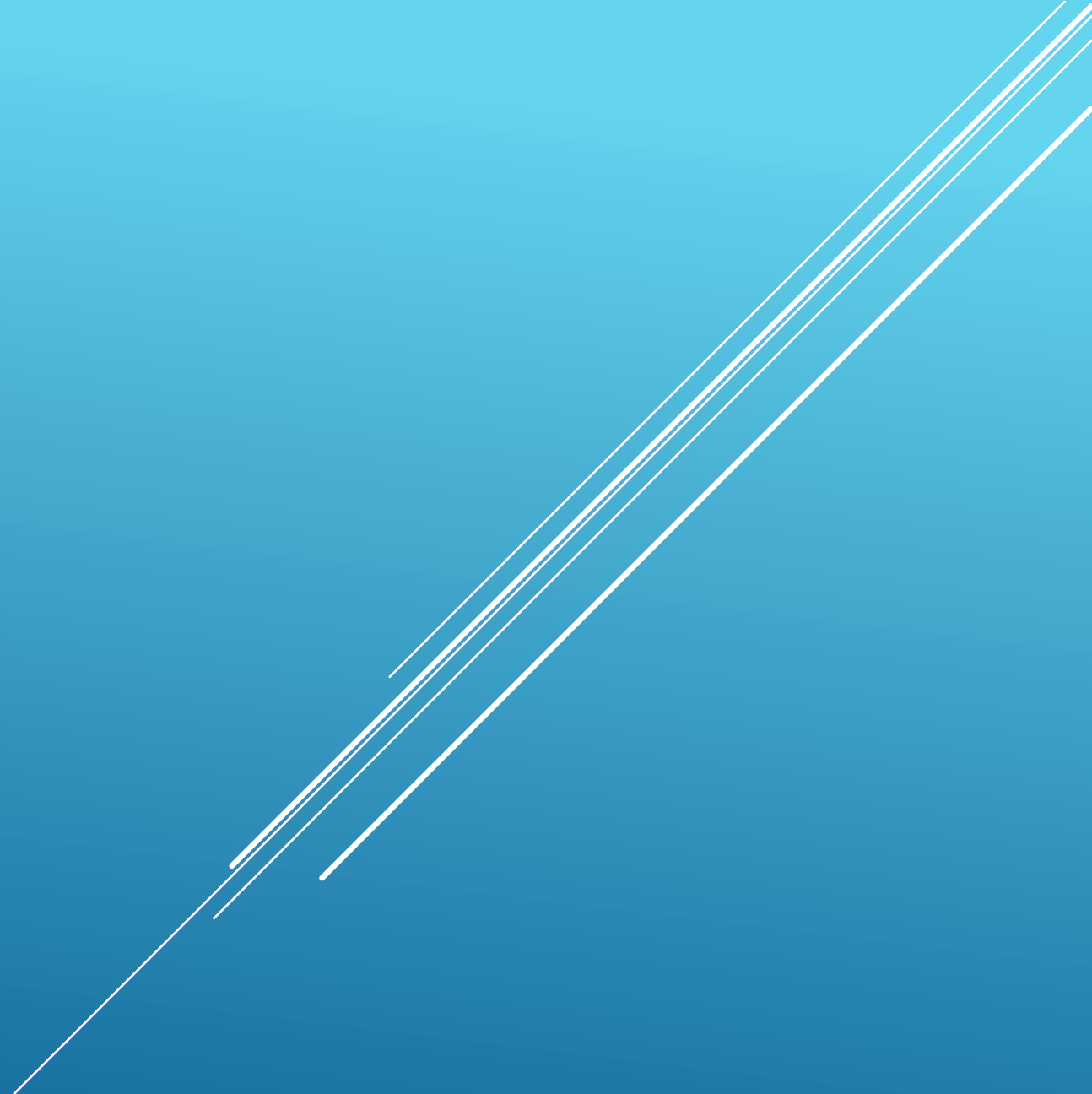
	中間配当	期末配当
2023年3月期実績 (初配)		17円50銭※
2024年3月期予想	0円00銭	17円50銭

※ 2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合による株式分割をしており、2023年3月期の期末配当金は1株当たり35円で株式分割前の株式数を対象としておりますが、表中では株式分割後換算の1株当たりの配当金の金額を記載

Agenda

- 2023年3月期 通期業績概要
- 中期経営計画と成長戦略
- 2024年3月期 通期業績予想
- **APPENDIX**

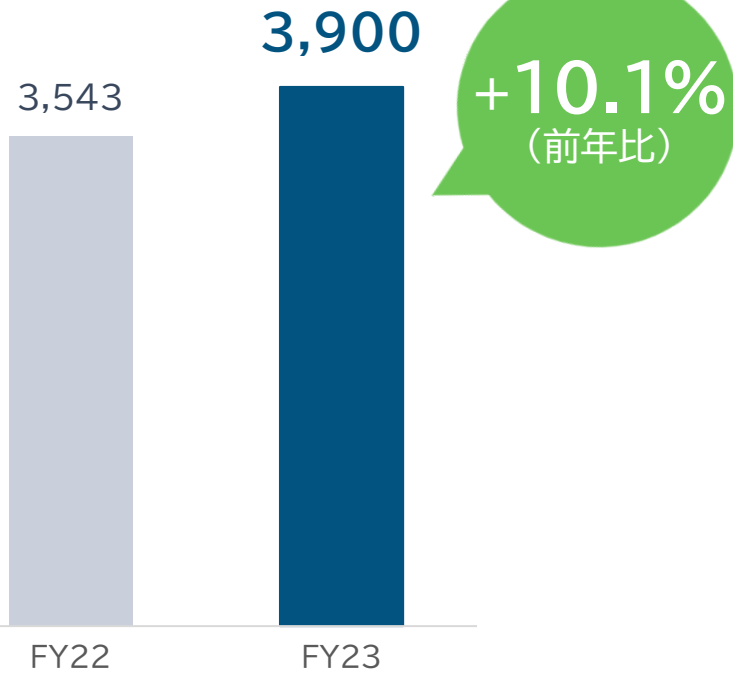
数値データ



2024年3月期 通期業績予想（サービス別売上）

認証・セキュリティ

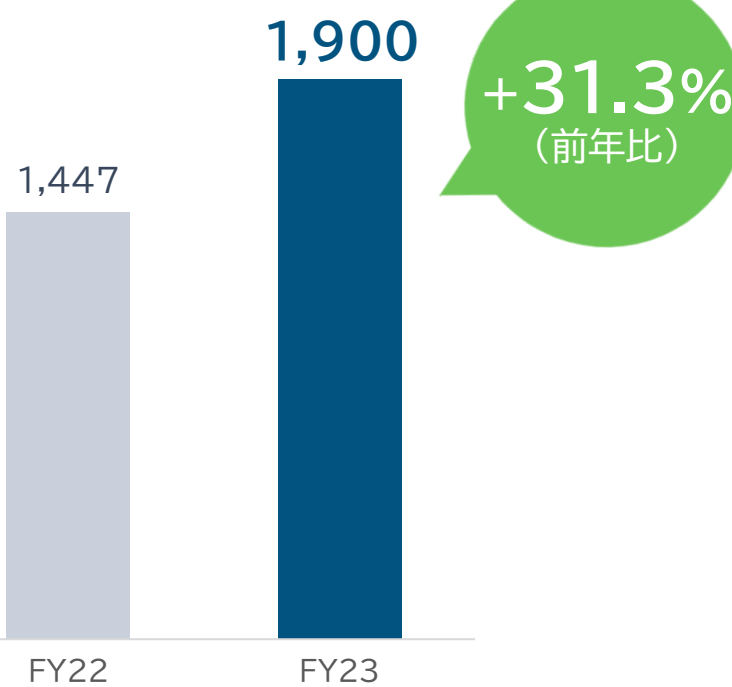
(単位：百万円)



デバイスID、iTrust 継続成長
リカーリング収益の拡大

Linux / OSS

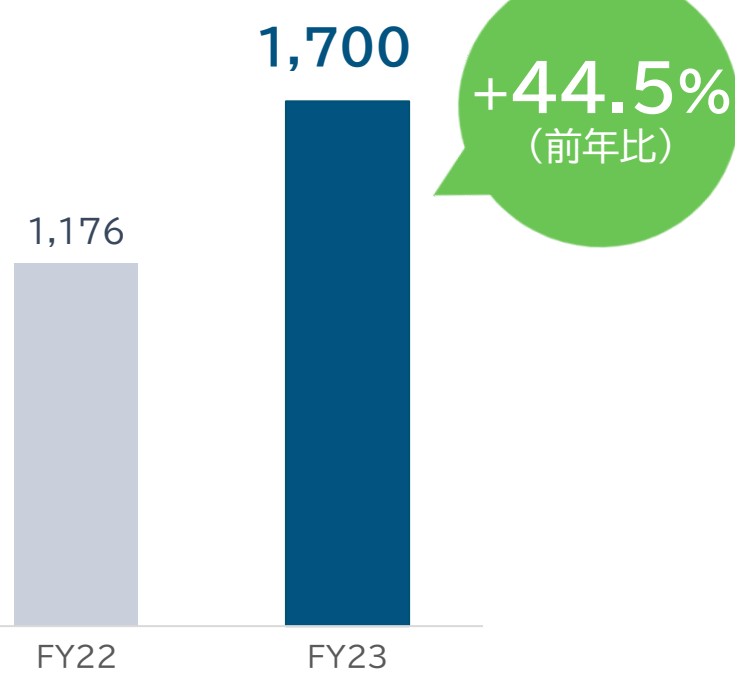
(単位：百万円)



MIRACLE LINUX継続成長
サポート契約数が増加

IoT

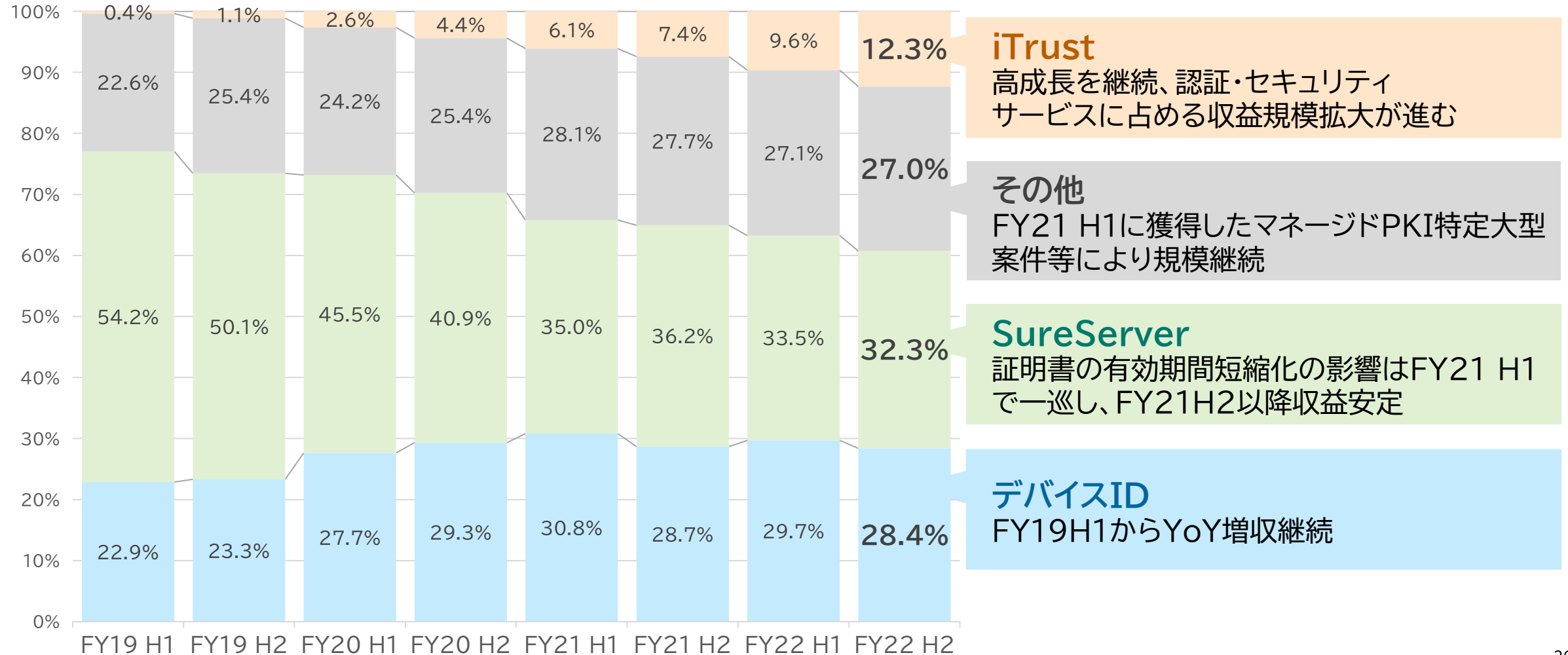
(単位：百万円)



受託開発が回復、国際安全基準の整備
進行により セキュリティコンサル、
EMLinux の契約数が増加

リカーリング売上に占める主要プロダクトの構成比率

サーバー証明書に次ぐ柱として デバイスID、iTrust が順調に成長



iTrust
高成長を継続、認証・セキュリティサービスに占める収益規模拡大が進む

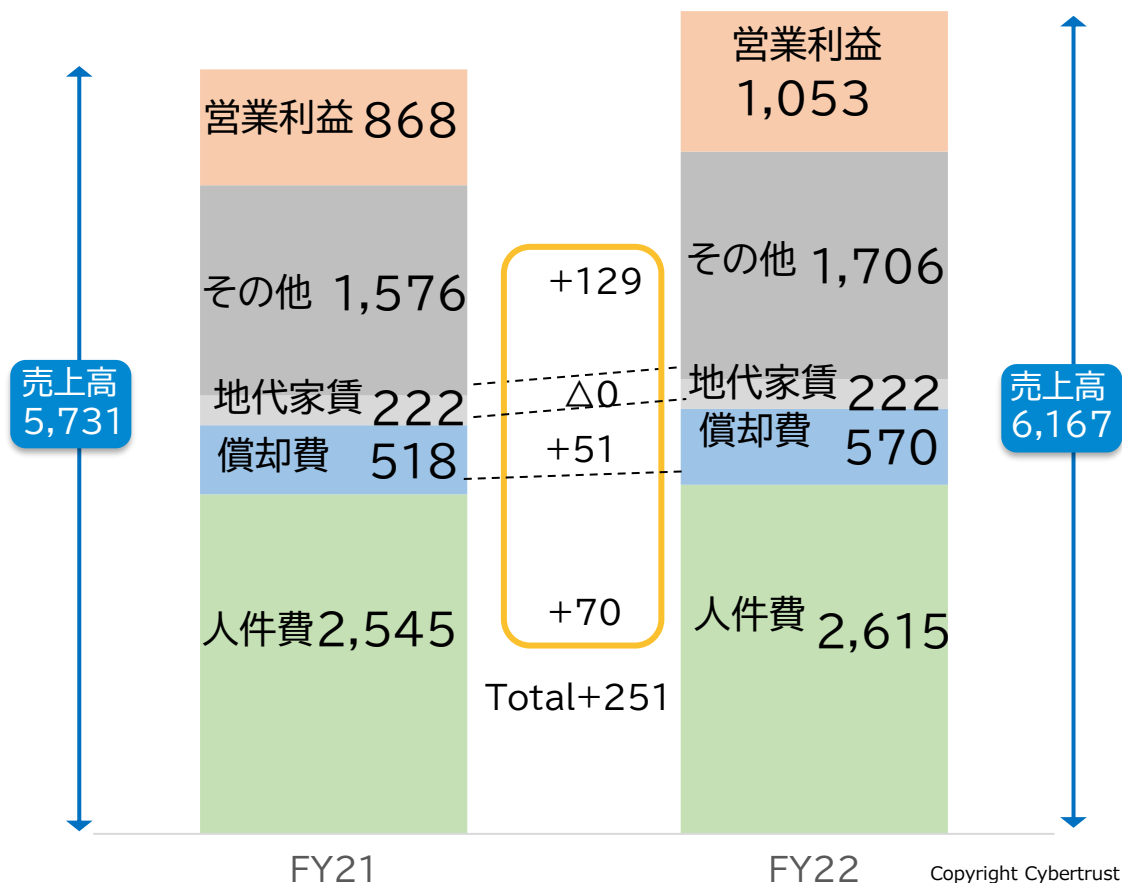
その他
FY21 H1に獲得したマネージドPKI特定大型案件等により規模継続

SureServer
証明書の有効期間短縮化の影響はFY21 H1で一巡し、FY21H2以降収益安定

デバイスID
FY19H1からYoY増収継続

リカーリングサービスの継続的成長に必要な設備投資により償却費は増加

費用の推移（連結） (単位:百万円)



設備投資方針

好調な電子認証サービスの提供能力増強、及び IoTサービスの将来の成長に向けた設備、自社開発ソフトウェアへの投資などを積極的に実施

FY22のコスト構造

前期比の主なコスト構造の変化は以下の通り

費用全体	251百万円増	
人件費	70百万円増	新卒・中途採用
償却費	51百万円増	デバイスID、iTrust及びIoTなどの設備投資やソフトウェア開発に関連し増加

■ 連結PL(サービス別売上詳細)

連結業績 (百万円)	FY20	FY21	FY22
売上高	4,895	5,731	6,167
認証・セキュリティサービス	2,925	3,359	3,543
ライセンス	126	203	155
プロフェッショナルサービス	592	567	448
リカーリングサービス	2,205	2,588	2,939
Linux/OSSサービス	1,095	1,472	1,447
ライセンス	296	334	336
プロフェッショナルサービス	182	164	124
リカーリングサービス	617	973	985
IoTサービス	874	899	1,176
ライセンス	118	108	115
プロフェッショナルサービス	725	752	981
リカーリングサービス	30	38	80
売上原価	2,734	3,167	3,281
売上総利益	2,160	2,563	2,886
販売費及び一般管理費	1,586	1,694	1,832
営業利益	574	868	1,053

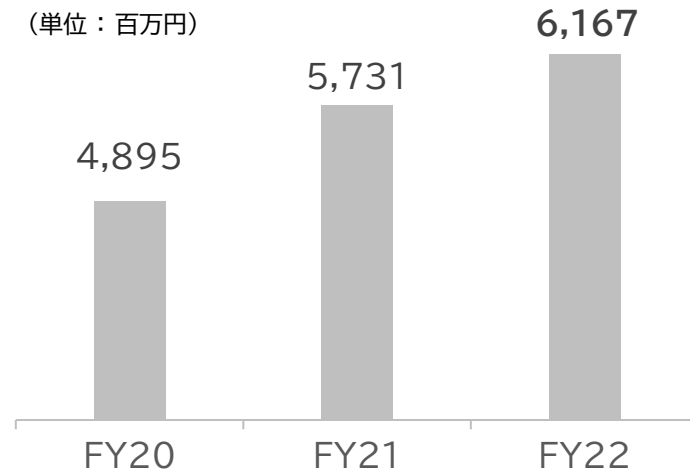
連結BS

	2021/3末	2022/3末	2023/3末	前期末比
流動資産	3,124	4,613	5,401	+788
現預金	1,962	3,577	4,366	+788
受取手形、売掛金 及び契約資産	893	861	878	+16
固定資産	2,725	2,606	2,465	△141
有形固定資産	544	531	513	△17
無形固定資産	1,735	1,629	1,512	△117
投資その他の資産	444	445	439	+5
総資産	5,851	7,222	7,868	+645
流動負債	1,585	1,786	1,705	△80
固定負債	413	562	538	△24
純資産	3,853	4,874	5,625	+750

主な連結経営指標

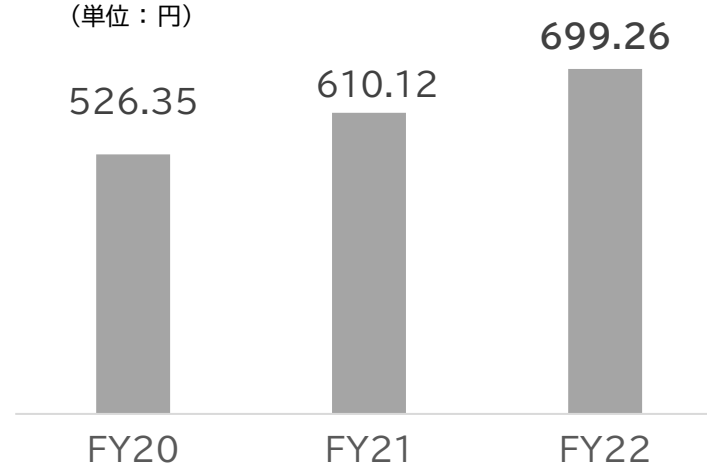
売上高

(単位：百万円)



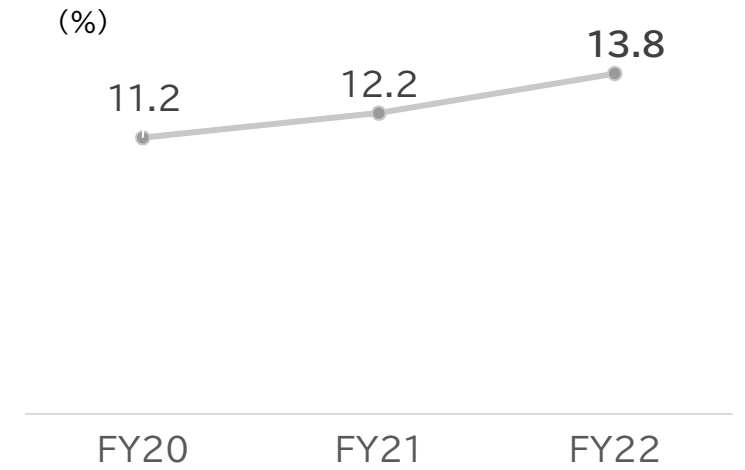
1株当たり純資産(BPS)

(単位：円)



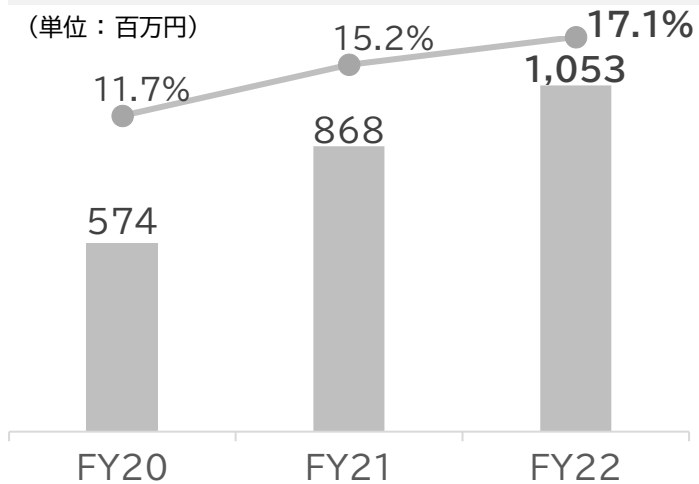
自己資本利益率(ROE)

(%)



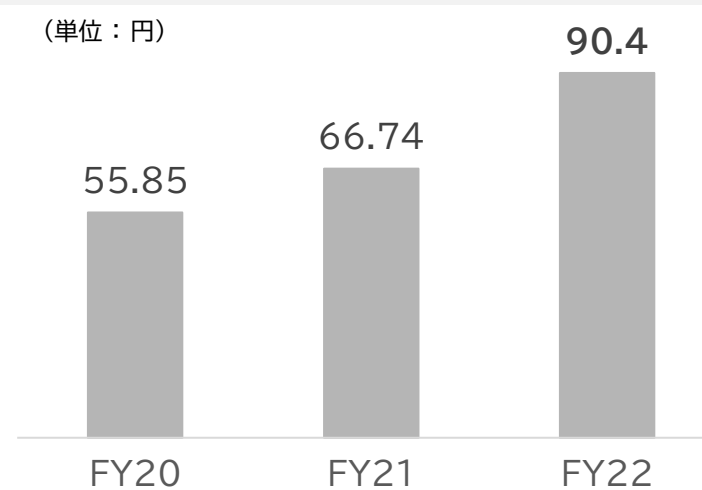
営業利益及び営業利益率

(単位：百万円)



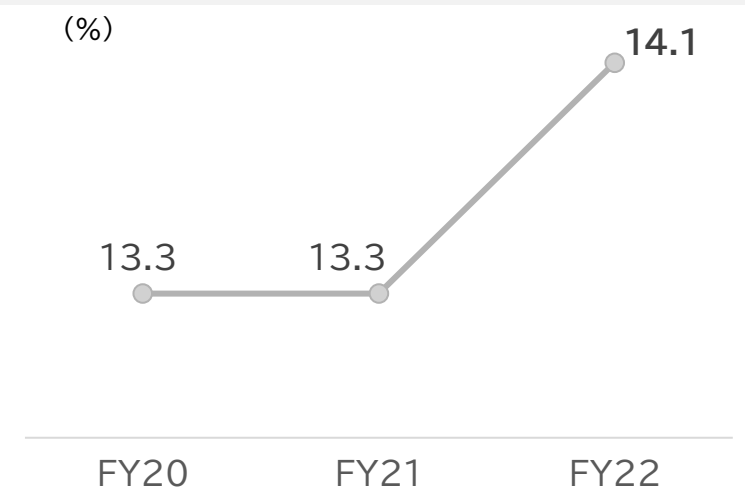
1株当たり当期純利益(EPS)

(単位：円)

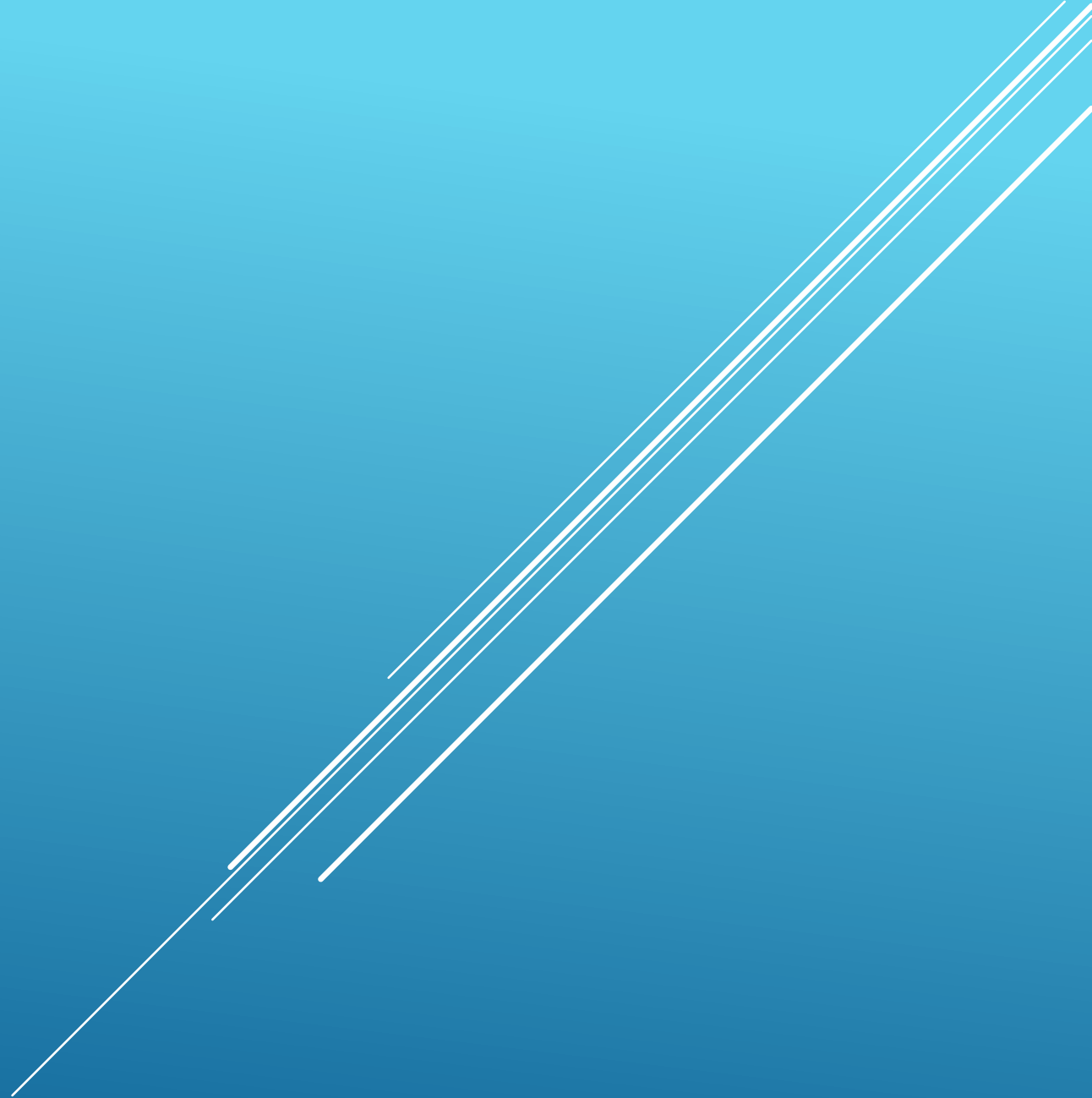


総資産経常利益率(ROA)

(%)



会社情報



信頼とともに

すべてのヒト、モノ、コトに信頼を
安心・安全なデジタル社会を実現します

社会的責任のある企業として

「持続可能な開発目標（SDGs）」への対応を重要な経営課題と認識しております。

当社は、事業・企業活動を通じて、持続可能な社会の実現に向け、さまざまな社会課題の解決に取り組みます。



事業の成長とともに持続可能な社会の実現に貢献



事業活動 を通じて取り組む社会課題

DX を支えるトラストサービス推進による 安心・安全なデジタル社会の実現

- 当社の認証サービス、IoT サービスの提供



オープンイノベーションによるテクノロジーの発展

- OSS コミュニティや業界団体での仕様策定、PoC (Proof of Concept) の実施、政府への提言、情報発信などを行う活動に参加
- DX を推進する企業とのパートナーシップと共同で社会課題を解決



会社活動 を通じて取り組む社会課題

レジリエントな組織づくりによる企業成長の実現

- 多様な働き方ができるよう、テレワークに関する制度等各種制度を設定
- ジェンダー平等を実現するため、女性の積極採用等施策を実施



- ◆ 管理職に占める女性従業員の割合: 8.2%以上達成
- ◆ 多彩なキャリアコース: 直近 3 年度で A~D の 2 項目以上達成
- A: 女性の非正社員から正社員への転換: 派遣労働者の雇入れでも可
- B: 女性のキャリアアップとなる雇用管理区分の転換
- C: 過去に在籍した女性の正社員としての再雇用
- D: おおむね 30 歳以上の女性の正社員としての採用



省資源・省エネルギー化によるサステナブルな社会への貢献

- 当社データセンターは、カーボンフリー電力を導入した施設で運用しており、加えて、省電力ハードウェア製品の導入や機材集約化により消費電力を削減し、照明や空調設備などを省電力化
- 電子契約サービスの全面的な導入により、ペーパーレス化を推進



- ◆ 再生可能エネルギー利用率: 2030年までに100%達成
- ◆ 新規機材調達における環境基準適合機材の調達率: 90%以上
- ◆ 電子契約率: 2030年までに 100%達成
- ◆ 印刷物削減: 2030年までに 2022年度比で 50%削減



4つのマテリアリティ(重要な社会課題)に取り組むことで、事業の成長とともに持続可能な社会の実現に貢献してまいります。4つのマテリアリティと主な取り組みは以上の通りとなります。その他 当社の SDGs に関する取り組みは当社ウェブサイト (<https://www.cybertrust.co.jp/corporate/sdgs/>) よりご確認ください。

会社概要



商号	サイバートラスト株式会社 Cybertrust Japan Co., Ltd.
設立	2000年6月1日
所在地	〒106-0032 東京都港区六本木1丁目9-10アークヒルズ仙石山森タワー35階
役員体制	代表取締役社長 眞柄 泰利 取締役副社長 北村 裕司 取締役 清水 哲也 取締役 香山 春明 社外取締役 築田 稔 社外取締役 広瀬 容子 社外取締役 田島 弓子
資本金	806,465千円 (2023年3月末時点)
主な株主 (2023年3月末時点)	SBテクノロジー株式会社 株式会社オービックビジネスコンサルタント みずほ証券株式会社 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ セコム株式会社 大日本印刷株式会社 株式会社日立製作所 THE BANK OF NEWYORK 133595 株式会社サンブリッジコーポレーション 株式会社大塚商会

事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 認証サービス事業、セキュリティソリューション事業■ Linux OS 開発、OSS を活用したエンタープライズ向けソフトウェア開発、サポートおよびコンサルティング事業■ IoT 関連事業、組込み Linux 関連事業
関係会社	< 連結子会社 > リネオソリューションズ株式会社 Cybersecure Tech Inc. その他1社 < 関連会社 > 日本RA株式会社 その他1社
事業所	本社（六本木一丁目）、松江ラボ

グロース市場 [上場維持基準] 全てに適合

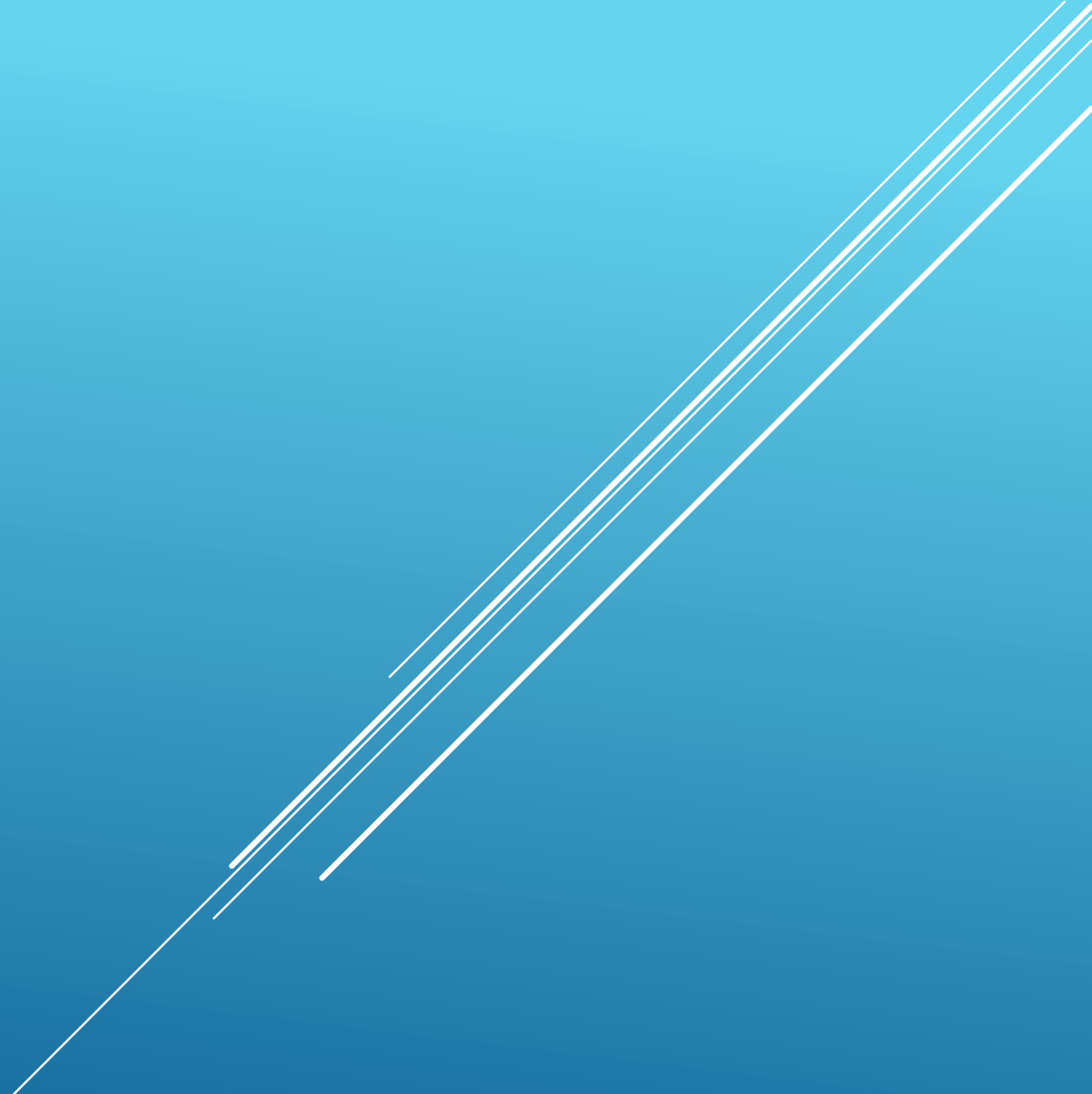
「流通株式比率」： 27.6% (2023年3月31日時点)

当社試算の結果、上場維持基準である25%を上回り、
2025年3月末までに充足する計画を前倒し達成見込

- ※役員等の保有株式数は詳細を確認中のため若干の変動可能性あり
- ※東京証券取引所より適合状況に関する通知を受領した後、改めて開示予定
- ※その他以下開示文書を参照

2023/4/26 「グロース市場上場維持基準の適合に向けた計画書に基づく進捗状況について」

事業概要



サイバートラストが解決する課題と提供価値

デジタルトランスフォーメーション(DX)の時代に必須の トラストサービスを提供

社会のデジタルシフト

デジタル化における課題

なりすまし
(ヒト・モノ)

不正アクセス
(ヒト・モノ)

盗聴

改ざん



- 国内最長の電子認証局運用実績
- 国内で最も高い組込みLinux技術
- 組込み・IoT技術

真正性

本人性

責任追跡性

実在性

信頼性

完全性

ヒト・コト・モノをつなげる
安心・安全の
新社会基盤

安心・安全なデジタル社会

認証セキュリティとLinux/OSSの技術を組み合わせることにより
DXの課題解決に向けた独自のトラストサービスを提供



デジタル社会の身分証である電子証明書、電子的本人確認・電子署名などのトラストサービスを提供
国内初の商用電子認証局かつ国際的な監査規格に合格した電子認証局の運営実績

当社の提供する、
認証・セキュリティサービス

現実社会の
証明書

- 運転免許証
- パスポート
- 印鑑証明書



デジタル社会の
証明書

- 電子証明書
- 電子的本人確認や電子署名

サーバー証明書
(SureServer)

ウェブサイトの実在性
 SureServer Prime

デバイス証明書
(デバイスID)

業務利用許可端末の認証

ユーザー証明書

従業員・会員などの認証

iTrustサービス

電子取引の信頼性を担保

- 電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律第17条第1項第6号の規定に基づく主務大臣認定事業者

行政が保証

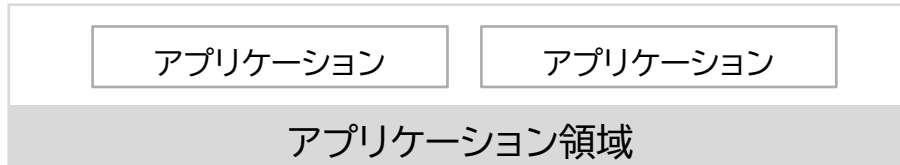
書面や郵送などでの手続き

電子認証局が保証

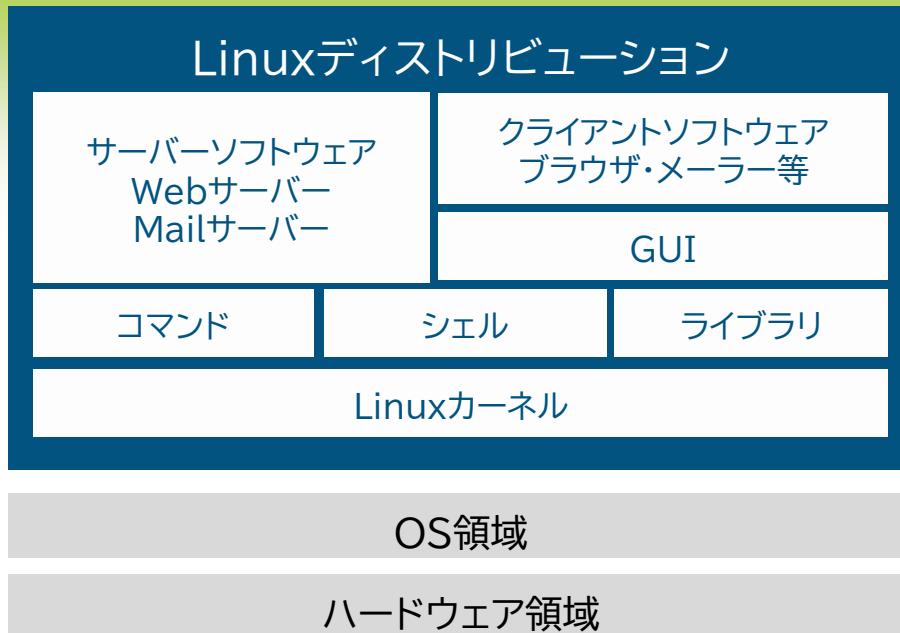
申請者の本人確認・証明書の発行・発行済証明書の管理を行う機関。当社は国内初の商用電子認証局を20年以上に渡り運営。

グローバルOSSコミュニティで活躍するエンジニア集団による 国内唯一のLinux/OSSディストリビューター

一般的なSier



OS上にアプリケーションシステムを構築



Linuxカーネルに必要な機能を組み合わせ
Linuxディストリビューションとして提供・サポート

重要システムで多数の採用実績

航空管制システム、産業機器、通信インフラ、
自動車など

10年以上の長期サポートに対応

*OSSコミュニティでのサポートは5~6年で終了

*生産、販売終了から5~9年の製品の補修用性能部品の保有期間に対応

実績の自社製品群

サーバー監視、脆弱性管理、セキュリティ、IoT向けLinux



IoT機器向けLinux OSの提供から、認証、ライフサイクル管理までを提供する技術力

IoT機器をセキュアに動かす
Linux/OSS 技術

自社製品

 EMLinux

- IoT機器に対して脆弱性アップデートを10年間提供(延長可能)

IoT機器の真正性確認をする
認証・セキュリティ 技術

自社サービス

 Secure IoT Platform

- IoT機器の安全性を担保、真正性を認証し長期のライフサイクル管理を提供
- OTAアップデート、セキュアブートなどクラウド環境で必要なサイバーセキュリティ対策を網羅

IoT機器のライフサイクル管理を実現する
IoT機器/クラウド連携 技術

セキュアIoTプラットフォーム(SIOTP)

用語	説明
電子証明書	「対象を正しく認証・特定するデジタル化された身分証明書」のことで、信頼できる第三者機関としての電子認証局が対象を審査して発行することにより、ヒトやモノなどの正しさを証明するもの
電子認証	ネットワーク上や、複数の利用者がいるシステムにおいて、利用者本人であることを電子的に確認し、なりすましの防止や情報の改ざんを防ぐこと
電子認証局	電子証明書の発行や失効などを行う権限を有し、登録局(審査を実施)と発行局(発行や失効などを実施)により構成される
サーバ証明書	ウェブサイトの「運営者の実在性を確認」し、ブラウザとウェブサーバ間で「通信データの暗号化」を行うための電子証明書
EVサーバ証明書	Extended Validation の略称。世界統一の厳格な審査基準に則って発行され、また監査機関により定められた監査に合格した電子認証事業者のみが発行できる、最も信頼性の高い SSL/TLS 証明書
マルチドメイン証明書	異なるドメインを含む FQDN であっても、Subject Alternative Names (SAN) の領域に登録して複数のドメインに利用することができる証明書
ワイルドカード証明書	同一ドメインの異なる複数サブドメインに対して 1 つの証明書で利用可能な証明書
SSL化	Webサイトとそのサイトを閲覧しているユーザとのやり取り(通信)を暗号化すること

用語	説明
クライアント証明書	ユーザのデバイス(PCやスマートフォン等)に証明書をインストールし、そのユーザが正規の利用者であることを認証する電子証明書。大きく「ユーザ証明書」と「デバイス証明書」の2種類となる
デバイス証明書	スマートフォンやタブレットなど、情報端末に発行される。社内ネットワークへのアクセス権を「証明書の入った端末のみ」と制御することで、権限のない情報端末によるアクセスを防ぐ
ユーザー証明書	社員証やシステムログインカードなど、個人を認証するために用いられる
VAR	付加価値再販業者。販売するサービスの一部として、デバイスIDを組み込んだり、オプションとして選べるようにして販売するパートナー契約のこと。
Linux	無償でソースコードが公開され、誰もが利用・複製・改変・再配できるオペレーティングシステム。必要な機能を選択して再構築できることから、サーバーや組み込みシステムとして電化製品などの幅広い用途に利用されている
OS	オペレーティングシステムの略称。コンピューターのシステム全体を管理し、種々のアプリケーションソフトに共通する利用環境を提供する基本的なプログラム
OSS (オープンソースソフトウェア)	ソフトウェアの設計図にあたるソースコードが無償で公開されており、誰でも使用及び改良や再配布ができるソフトウェア
Linuxディストリビューション	Linuxカーネルとその他ソフトウェア群を1つにまとめ、利用者が容易にインストール・利用できるようにしたもの

用語	説明
RHEL	Red Hat Enterprise Linuxの略。Red Hat社によって開発、販売されている業務向けのLinuxディストリビューションのこと。
CentOS	RHEL と高い互換性を持つコミュニティベースの無償 Linux OS
OSSコミュニティ	オープンソースソフトウェア(OSS)の開発や改善、情報交換などを主な目的として、利用者、開発者、愛好者らによって構成され非営利目的で運営される団体。世界中に散在するメンバー間でソースコードを共有し、共同開発や関連情報の発信、勉強会の開催などを行っている
SBOM	Software Bill of Materials：ソフトウェアに含まれるコンポーネントや依存関係、ライセンスの種類などをリスト化したソフトウェア部品表のこと。
統合監視ツール	サーバーが正常に稼働しているかどうか、サーバーから稼働情報を取得することで、稼働状況を把握・分析するためのツール
組込み	特定用途向けに特化、限定した機能を果たすことを目的とした機器およびシステム。携帯電話やカメラなどの電子機器や家電製品・自動車等
リアルタイム(RT)OS	一般的な汎用OSと違い、リアルタイム性を重視した、組込みシステムで多く用いられるOS
ROT	Root of Trust (信頼の基点)：ハードウェアやソフトウェアに関するセキュリティにおいて、信頼性を実現する根幹となる部分のこと。
Sigstore	OSSの出所と真正性を確認する署名サービス

製品対照表

機能	正式製品名	本資料における略称
【 認証・セキュリティ 】		
SSL/TLSサーバー証明書	SureServer	SureServer
端末認証	サイバートラスト デバイスID	デバイスID
認証局アウトソーシングサービス	サイバートラスト マネージドPKI	マネージドPKI or MPKI
本人確認、電子署名用証明書、電子署名	iTrust 本人確認サービス、iTrust 電子署名用証明書、iTrust リモート署名サービス	iTrust ※左記の3つサービスを包含するサービスとして表記
本人確認	iTrust 本人確認サービス	iTrust (本人確認)
電子署名用証明書	iTrust 電子署名用証明書	iTrust (電子署名)
電子署名	iTrust リモート署名サービス	※左記の2つサービスを包含するサービスとして表記
【 Linux / OSS 】		
サーバーOS / クラウド基盤	MIRACLE LINUX	MIRACLE LINUX
統合監視	MIRACLE ZBX	MIRACLE ZBX
【 IoT 】		
IoT向けLinux	EMLinux	EMLinux
IoTトラストサービス	Secure IoT Platform	SIOTP

製品・サービス紹介ページ一覧

製品・サービス紹介ページ	URL
サイバートラスト株式会社 Webサイト	https://www.cybertrust.co.jp/
【 認証・セキュリティ 】	
SureServerサービス	https://www.cybertrust.co.jp/sureserver/
サイバートラスト デバイスIDサービス	https://www.cybertrust.co.jp/deviceid/
iTrustサービス	https://www.cybertrust.co.jp/itrust/
【 Linux / OSS 】	
MIRACLE LINUX製品	https://www.cybertrust.co.jp/miracle-linux/
CentOSサポートサービス	https://www.cybertrust.co.jp/centos/
MIRACLE ZBX製品	https://www.cybertrust.co.jp/zabbix/
MIRACLE VulHammer製品	https://www.cybertrust.co.jp/zabbix/vul-hammer/
【 IoT 】	
EMLinux製品	https://www.cybertrust.co.jp/iot/emlinux.html
セキュア IoT プラットフォームサービス	https://www.cybertrust.co.jp/siotp/index.html

■ プレスリリース一覧 (FY22 Q4~)

01.31



クオンティニウムとサイバートラスト、量子強化型秘密鍵をサイバートラストの新認証基盤に連携し実証を完了

02.10



「EMLinux」および「サイバートラスト セキュア IoT プラットフォーム認証局」が、第三者機関の国際安全基準レベルのセキュリティ認定を取得

02.14



サイバートラスト、「iTrust 電子署名用証明書」の個人向け電子署名用証明書の利用シーンを拡大し DX 推進を支援

02.16



サイバートラスト、システムに影響する脆弱性情報をメール通知するサービス「MIRACLE Vul Alert」を 2023 年 3 月より提供開始

02.20



東京システムハウスとサイバートラストが協業し、レガシーシステムのオープン化を支援

02.28



システム監視環境の可用性を向上するクラスター構成アプライアンス構築サービスを提供開始

03.22



サイバートラストとスカイコム、日本国内における e シール普及に向けた協業を発表

03.23



端末認証サービス「サイバートラスト デバイス ID」が「Microsoft Azure AD の証明書ベース認証」に対応し、安全なクラウドサービス利用を支援

03.27



サイバートラストの「MIRACLE LINUX」をバンドルした「MIRACLE With EPP サポートパック」を OCH が提供開始

04.18



サイバートラスト、動的サイトの脆弱性診断を短期間・高精度で実現する「AI スキャン診断サービス」を提供開始

04.26



マイナンバーカード機能のスマホ搭載に対応した本人確認方式を提供

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社はこれを保証するものではありません。

本資料に記載されている当社ならびに第三者の商品またはサービスの名称等は、各社の商標または登録商標です。「 SureServer 」、「 iTrust 」、「 MIRACLE LINUX 」及び「 MIRACLE ZBX 」はサイバートラスト株式会社の登録商標です。



信頼とともに